

▼映像文化ライブラリーにある多くの貴重な映像資料や音楽資料については、歳月とともに劣化していくため、しっかりと保存、保管できるように検討してほしい。

▼中央公園に限らず施設の利活用に当たっては、目標や目的を明確にし、計画的に進めてほしい。

▼中央図書館など中央公園内の公共施設の移設については、歴史的背景や建設した目的が達成されているかといった視点で今後の施設の在り方を検討してほしい。

▼文化、スポーツ施設が集まる中央公園の中で、文化の中心となる中央図書館を商業業務機能の強化を図ろうとする広島駅前に移転させようとするのは、納得がいかない。

▼図書館については、多くの人が本に親しむことが大切ではないかと考えているので、様々な意見をいただきながら、すばらしい図書館になるよう努力してほしい。

▼こども文化科学館、こども図書館、ファミリールームについては、こどもゾーンを面として捉え、関係課が連携して各

▼こども文化科学館については、青少年センターが移転してくることも、利用者へのサービスが低下しないようにしてほしい。

▼青少年センターについては、移転することになっても、現在、無料で利用できる部分は、引き続き無料で利用できるようにすること、他の施設を利用することとなった場合は、施設によって利用料が異なることのないよう、公平性に特に留意して検討してほしい。

▼浅野文庫について別途検討す

▼一体となって、オープンカフェ設置の推進などにより、スピード感を持って街並みを変えてほしい。

▼公共交通を軸とした交通体系の構築

(1)総合交通戦略の改定  
(2)地域公共交通計画の改定  
(3)公共交通ネットワークを活用した地域活性化の取組

▼バス事業への上下分離方式の導入に当たっては、国の財政支援が不可欠であるため、様々なネットワークを活用し、各党の国會議員に働き掛けて是非ともこれを実現してほしい。

▼ただで財政支援するのかが示されないと議会として判断できないため、共同運営システムの実現可能性をしっかりと検討した上で、本市の財政支援の規模を示してほしい。

▼市民がどこに住んでいても公共交通を同じように利用できるような利便性の向上に努めてほしい。

▼共同運営システムの構築によるバス事業者への財政支援だけでなく、バス運転手の成り手不足を解消するため、運転手の処遇改善も検討してほしい。

▼経済状況の厳しさを把握するために、倒産件数だけでなく休業、廃業の件数を把握する必要があるため、是非調査をしてほしい。

▼広域都市圏に係るSNSを活用した情報発信については、関係市町が連携して行うよう本市がリーダーシップを執って取り組み、広域都市圏を盛り上げてほしい。

▼G7広島サミットに向けた取組については、本市の様々な魅力が多くの方に伝わるよう、工夫して行ってほしい。

▼中小事業者への経営支援に当

▼要な課題です。委員各位の貴重な意見を真摯に受け止め、これらの課題に対する取組を推進していただくよう強く要望します。

委員長 碓氷芳雄  
副委員長 石橋竜史  
委員 西佐古晋平 吉瀬康平  
川本和弘 平岡優一  
岡村和明 平野太祐  
桑田恭子 渡辺好造  
八條範彦 元田賢治  
永田雅紀 山田春男  
藤田博之

安心社会づくり対策特別委員長報告



本会議で報告する 森島秀治委員長

各調査項目に対する委員の意見は次のとおりです。

▼災害に強いまちづくり  
行政がいかかして市民の命を守るかというところにもっと力を置いて避難計画を作成してほしい。

▼同意を得られない要支援者に対しては、全国の例を参考にするとともに、要支援者がどこにいるかという情報を地域で共有できるようにしてほしい。

▼平成26年の災害において被災地の住民と広島市が一体となって取り組んだ復興まちづくりプランの策定に関するノウハウを広島市の中で継承してほしい。

▼平成30年災害の復興まちづく

りプランを早く作成し実行するために、市と地域で共通認識を持つて取り組んでほしい。

▼防災・減災対策の整備事業を行うだけでなく、治水プロジェクト等を含めて、今こんなことが行われてますという情報を、国、県、関係自治体と連携して是非発信してほしい。

▼防災情報を本当に必要な人に伝えるために、市が直接できなくても、小さい単位の町内会を通じて伝えたりすることを進めてほしい。

▼避難行動要支援者のうち、災害危険区域に居住し、かつ家族等の支援が受けられない方の個別避難計画の作成については、命を守る支援が届くよう、着実に推進してほしい。

▼降雨の状況が下流の者に分かるようなシステムを作るとともに、そういった情報が分かるような防災計画を同時に考えてほしい。

▼保健医療対策  
(1)広島市健康づくり計画『元氣じゃけんひろしま21』の改定  
長寿社会になってきているので、市民が少しでも長く健康でいられるように、引き続き様々

な施策を充実してほしい。

▼高齢化が進み、老衰で亡くなる人の割合が増加しているのを、終末期をどのように過ごすかを家族等と話し合う人生会議について、高齢者施策の中で取り組んでほしい。

▼永久歯が生える時から歯周病対策をきちっとしておかないと、永久歯が駄目になってしま

うので、次期計画にはう蝕と同じ位の位置付けで歯周病対策について記載してほしい。

▼健康診査の受診率の向上について、ナッジ理論の活用だけでなく、受診するとポイントが貯まるといった得をする仕組みも受診につながると思っているので、取り組んでほしい。

▼働く世代の運動習慣者の割合が減っており、この世代が高齢になった時に病気になる確率が高くなっているため、若い時から様々な運動の機会が得られるような施策を考えてほしい。

▼健康診査については、働き方や経済的な環境等によって、受診しない理由も様々であるため、どうすればなるべく多くの方に受診してもらえるのか是非考えてほしい。

▼2025年に65歳以上の5人に1人が認知症になると言われているため、認知症の予防対策

を、次期計画の中に含めてほしい。

(2)新型コロナウイルス感染症対策の検証及び今後の対応  
▼新型コロナウイルス感染症に感染し、後遺症に悩む方の不安を軽減するため、後遺症外来に関する情報提供を丁寧に行ってほしい。

▼今後のワクチン接種については、実績を踏まえて供給を受ける量を調整し、廃棄になるものを極力少なくするよう努めるべきではないか。

▼現場を担う基礎自治体として、国に対し必要であれば政策の見直しを求め、その役割の一つであるため、その判断材料として本市のワクチン接種の有無と症状の相関関係や症状別割合のデータを示してほしい。

▼感染症患者が今後も必要な医療を受けられるよう保健所や医療現場の体制の充実に努めてほしい。

▼地域コミュニティの活性化  
ビジョンの策定に当たっては、地域の声を聴き、地域の主体的な担い手はどこなのか整理し、ビジョンを誰が担うのか、いつまでやるのかを明確にした上で、地域間のバランスを考慮して進めてほしい。

▼しっかりとしたビジョンを作

って、地域がこれから5年後、10年後を目指して活性化するようにしてほしい。

▼町内会が担うべきものの位置付け、これからのコミュニティが何をすべきなのか、新たな協働体制はなぜ必要なのか、その中身は何なのかを、きちっと明確にしたビジョンにすべきではないか。

▼市が地域の困り事を掘り下げて話をするには、これに携わる職員は専門性が必要になるため、ジョブ型にすることも含め職員への体制について検討してほしい。

▼今でさえ、コミュニティは地域差があり、この取組によりますます差が開いてしまうのではないかと心配なので、なかなか進まない地域へフォローをしてほしい。

▼空き家を活用した地域の活性化の仕組みづくりについては、中山間地域だけではなく、中心部の老朽化したマンションの空き家も念頭に置いて考えてほしい。

▼地球温暖化対策  
国産木材を活用することにより森林を若返らせることは、森林による温室効果ガスの吸収に有効であることから、こうしたことを踏まえた計画にしてほしい。

▼再生可能エネルギーの普及に当たっては、自然を破壊する乱開発につながるようなものは、きちっと制限できる内容の計画にしてほしい。

▼ZEB化の推進は、今後の市有施設に係る地球温暖化対策において欠かせない取組であるため、財政局を始め関係部局と連携し、着実に導入を推進してほしい。

▼地球温暖化対策に携わっているのは、教育と連携して若い世代への啓発に力を入れて取り組んでほしい。

▼建物の新築・改築時の再生可能エネルギーの導入等については、補助制度があるが、今後これらの設備の修繕等についても何らかの対策を検討してほしい。

▼地球温暖化対策実行計画の実施に当たっては、環境調整会議において施策ごとにどれだけの効果をお金を掛けてどれだけの効果があったかを検証して進めてほしい。

▼脱炭素社会の構築に向けた社会経済システムへの転換について、その必要性や行政として積極的に推進することを市民に広げていく取組を検討してほしい。



本特別委員会で調査・研究した項目は、自然災害が頻発化、激甚化する中、防災力の向上を図ること、市民一人一人が、生涯を通じて心身ともに健康で自立した生活を送ることができるまちを実現すること、新型コロナウイルス感染症対策を講じること、持続可能な市民主体の地域づくりを進めること、2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指すことなど、今後、市民が安心して社会で暮らせるまちづくりを進める上で、非常に重要な課題です。委員各位の貴重な意見を真摯に受け止め、これらの課題に対する取組を推進していただくよう強く要望します。

委員長	森島秀治	定野和広
副委員長	山本昌宏	三宅朗充
委員	山下正寛	三宅朗充
	川口茂博	椋木太一
	田中勝	並川雄一
	石田祥子	三宅正明
	馬庭恭子	中原洋美
	太田憲二	木山徳和
	碓井法明	木島丘